

タイガースポリマー株式会社

2026年3月期第2四半期 決算概要説明

2025年11月19日

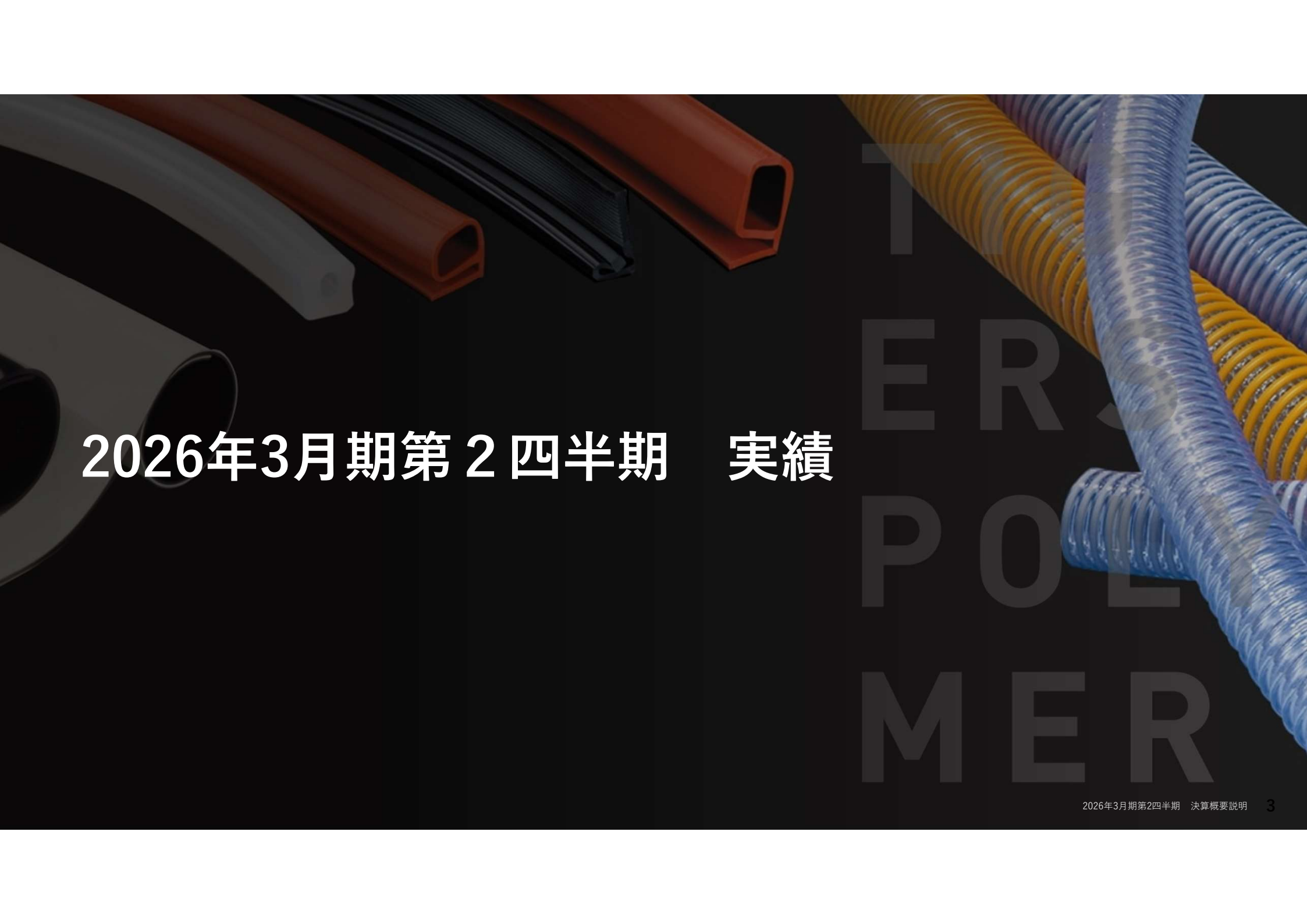
東証STD
4231

TIG
ERS
POLY
MER

2026年3月期第 2 四半期	実績	03
-----------------	----	----

2026年3月期	業績予想	10
----------	------	----

Appendix		16
----------	--	----



2026年3月期第 2 四半期 実績

決算概要



■ 売上高は米州・中国・東南アジアの販売減少や為替換算影響などにより前期比減収

■ 営業利益、経常利益、中間純利益は日本の販売増加や値上げ効果、諸経費削減や効率化などにより前期比増益

単位：百万円	2024年 3 月期中間		2025年 3 月期中間		2026年 3 月期中間			
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	24,067	100.0%	24,647	100.0%	24,192	100.0%	▲ 455	▲ 1.8%
営業利益	1,827	7.6%	1,273	5.2%	1,654	6.8%	+ 381	+ 29.9%
経常利益	2,596	10.8%	1,470	6.0%	1,848	7.6%	+ 377	+ 25.7%
中間純利益	1,856	7.7%	795	3.2%	1,305	5.4%	+ 510	+ 64.2%
1 株当たり 中間純利益	93円26銭		40円05銭		66円13銭		+ 26円08銭	+ 65.1%

地域別 売上高・営業利益

- 日本は自動車部品の販売増加や値上げ効果により増収、米州は産業用ホースの販売減少や為替換算影響により減収、中国は自動車生産台数の減産により減収
- 営業利益は、日本は増収影響により増益、米州・東南アジアはほぼ横這い、中国は労務費や諸経費の削減により赤字額縮小

単位：百万円		2024年3月期中間	2025年3月期中間	2026年3月期中間		
		実績	実績	実績	増減額	前期比
日本	売上高	10,675	11,162	11,937	+ 774	+ 6.9%
	営業利益	502	172	420	+ 248	+ 143.8%
	営業利益率	4.7%	1.5%	3.5%		
米州	売上高	10,956	11,774	10,834	▲ 939	▲ 8.0%
	営業利益	1,197	1,174	1,160	▲ 14	▲ 1.2%
	営業利益率	10.9%	10.0%	10.7%		
東南アジア	売上高	1,723	1,928	1,879	▲ 49	▲ 2.6%
	営業利益	99	111	111	+ 0	+ 0.3%
	営業利益率	5.8%	5.8%	6.0%		
中国	売上高	2,426	1,924	1,580	▲ 343	▲ 17.9%
	営業利益	▲ 42	▲ 236	▲ 90	+ 145	—
	営業利益率	▲ 1.8%	▲ 12.3%	▲ 5.7%		

製品別売上高



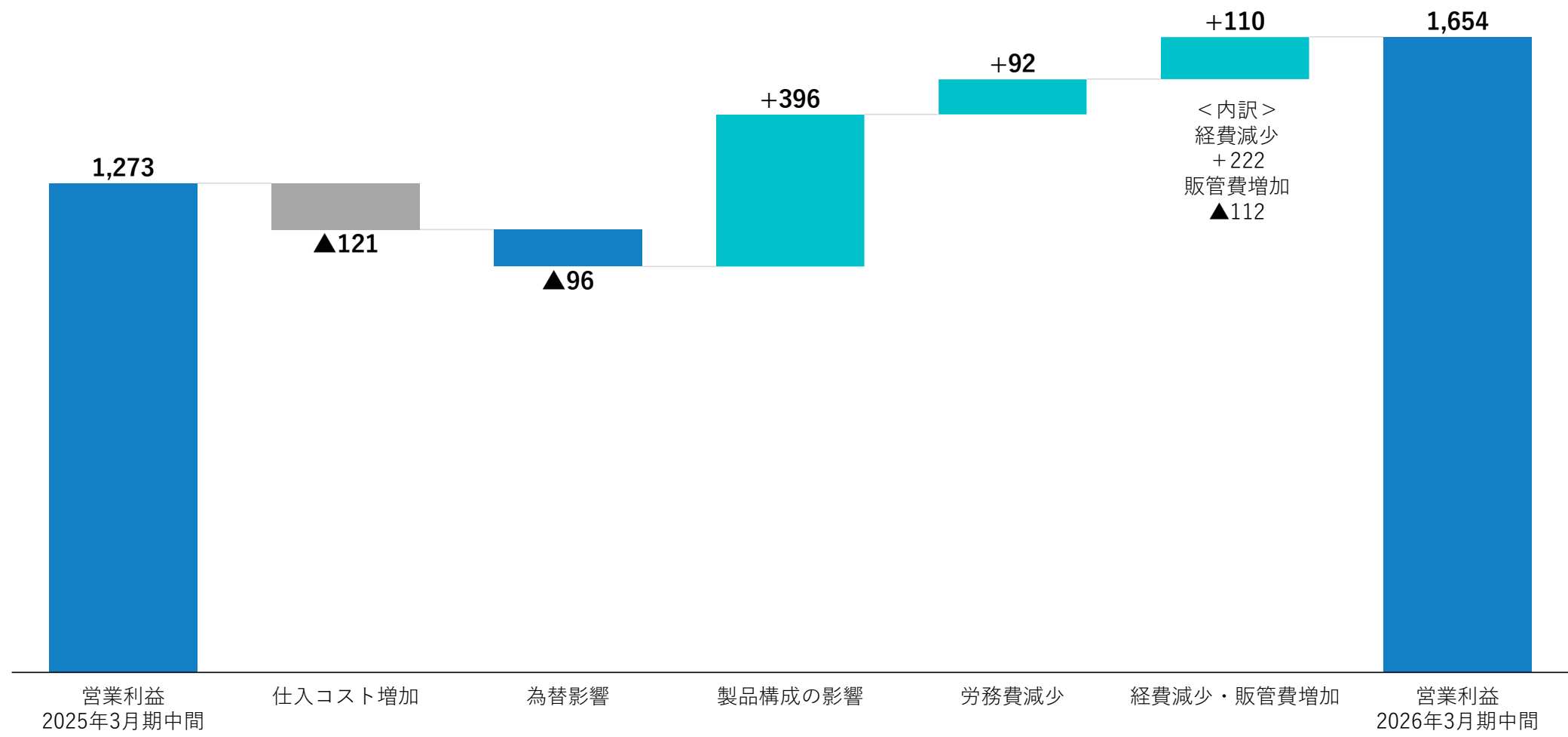
- 成形品は自動車部品の販売が日本は前期比増加したが、米州は為替換算影響で減少、中国・東南アジアも減少
- ホースは産業用の販売が日本は前期比増加したが、米国・東南アジアで減少、家電用の販売は中国・東南アジアで減少

単位：百万円	2024年3月期中間		2025年3月期中間		2026年3月期中間		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	24,067	100.0%	24,647	100.0%	24,192	100.0%	▲ 1.8%
成形品	13,888	57.7%	14,223	57.7%	14,228	58.8%	+ 0.0%
ホース	7,047	29.3%	7,530	30.6%	6,727	27.8%	▲ 10.7%
ゴムシート	2,576	10.7%	2,397	9.7%	2,633	10.9%	+ 9.8%
その他	555	2.3%	495	2.0%	601	2.5%	+ 21.5%

営業利益増減要因分析



営業利益増減（百万円）



貸借対照表

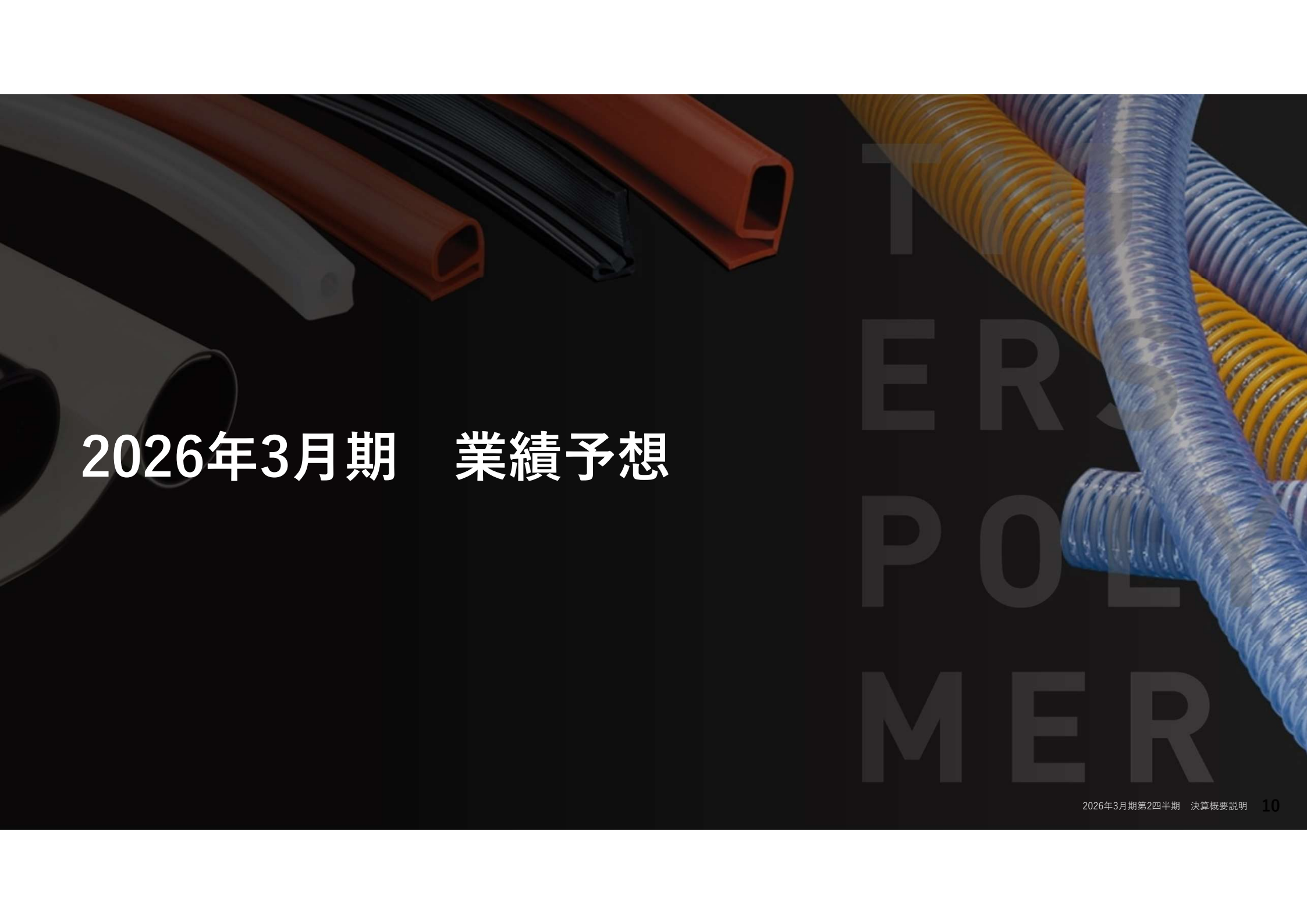


単位：百万円	2025年3月末	2025年9月末		
	実績	実績	増減額	主要増減要因
流動資産	36,702	34,617	▲2,085	・現金及び預金 ▲2,379 ・受取手形及び売掛金 +445
固定資産	24,425	25,082	+657	・有形固定資産 +133 ・投資有価証券 +729 ・繰延税金資産 ▲221
資産合計	61,128	59,700	▲1,428	
流動負債	10,758	9,711	▲1,047	・未払金 ▲307 ・1年内返済予定の長期借入金 ▲900 ・未払法人税等 +179
固定負債	3,404	3,711	+307	・長期借入金 +150 ・繰延税金負債 +170
純資産	46,966	46,277	▲688	・利益剰余金 +589 ・その他有価証券評価差額金 +489 ・為替換算調整勘定 ▲1,713
負債純資産合計	61,128	59,700	▲1,428	
自己資本比率	72.3%	72.9%		

キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円	2024年3月期 中間	2025年3月期 中間	2026年3月期中間		
	実績	実績	実績	増減額	主なキャッシュ・インフロー／アウトフロー
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,338	1,904	2,027	+ 123	税引前四半期純利益 + 1,946 減価償却費 + 1,249 売上債権の増減額 ▲ 726 法人税等の支払額 ▲ 207
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,015	▲ 1,402	▲ 2,431	▲ 1,029	有形固定資産取得 ▲ 2,267
フリーキャッシュ・フロー	2,323	501	▲ 403	▲ 905	
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 334	▲ 870	▲ 1,474	▲ 603	長期借入による収入 + 300 長期借入金の返済 ▲ 1,050 配当金の支払 ▲ 714
現金及び現金同等物の増減額	2,439	304	▲ 2,300	▲ 2,605	
現金及び現金同等物の期首残高	10,320	13,930	14,229	+ 298	
現金及び現金同等物の期末残高	12,760	14,235	11,928	▲ 2,306	



2026年3月期 業績予想

業績予想



■ 通期の業績予想は、上期の実績を踏まえつつも、下期における半導体の供給不足懸念による自動車生産の減産リスクなど、得意先の状況が依然として流動的であるため、修正は行っておりません。

単位：百万円	2025年3月期		2026年3月期 (5/14公表)		前期比	
	実績	売上高比	予想	売上高比	増減額	増減率
売上高	49,336	100.0%	47,700	100.0%	▲1,636	▲3.3%
営業利益	2,833	5.7%	2,700	5.7%	▲133	▲4.7%
経常利益	3,284	6.7%	3,000	6.3%	▲284	▲8.7%
当期純利益	3,383	6.9%	1,800	3.8%	▲1,583	▲46.8%
1株当たり 当期純利益	170円83銭		91円16銭		▲79円67銭	▲46.6%

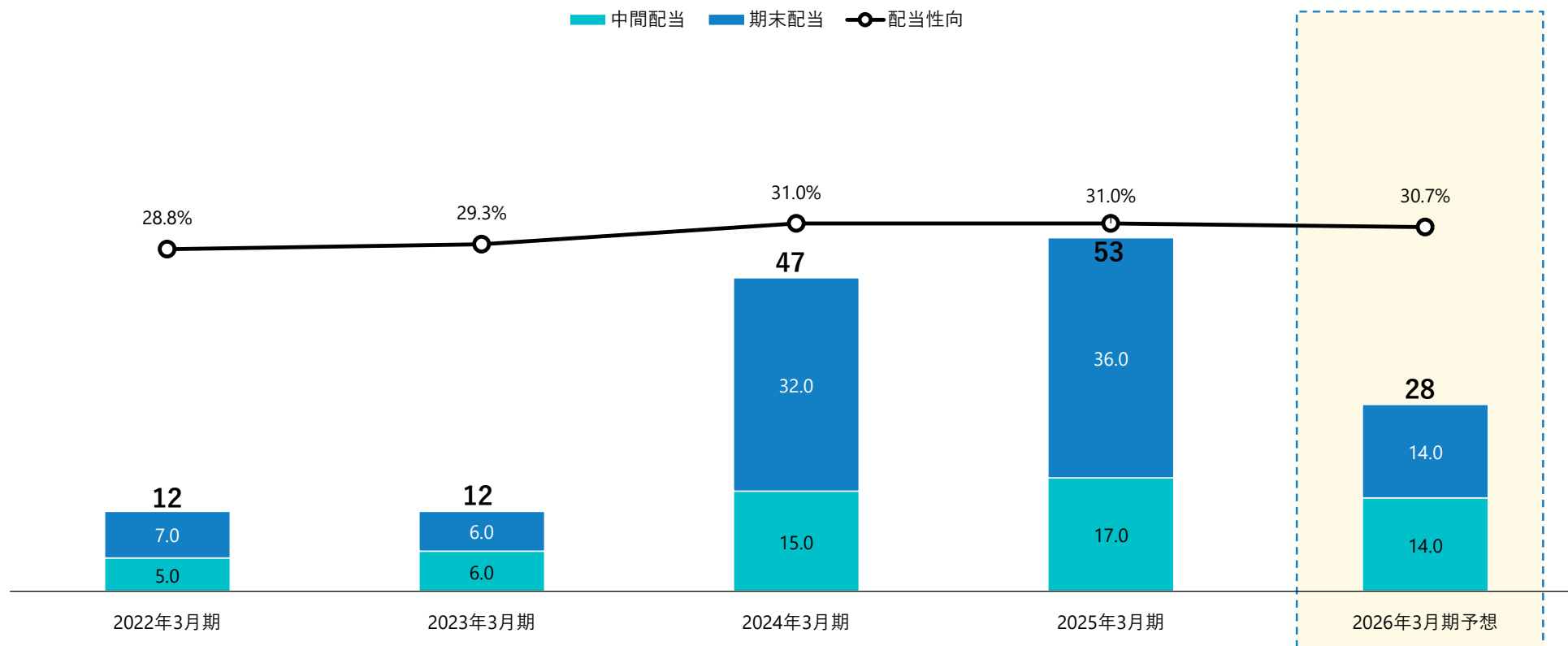
株主還元



■ 連結配当性向30%以上を目標に実施

■ 2026年3月期の年間配当予想額は1株当たり28円（予想配当性向30.7%）

1株当たり配当金（円）



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（アップデート）



成長戦略と資本・財務戦略を両輪で進め、資本収益性の向上を図る

現状分析	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
ROE	2.6%	2.7%	2.4%	8.1%	8.0%
当期純利益率	2.1%	2.0%	1.8%	6.3%	6.9%
×					
総資産回転率	0.8回	0.9回	0.9回	0.9回	0.8回
×					
財務レバレッジ	1.5倍	1.5倍	1.5倍	1.5倍	1.4倍
株主資本コスト	7.1%（15年間平均）				
PBR	0.33倍	0.29倍	0.25倍	0.57倍	0.32倍

- 2024年3月期及び2025年3月期は当期純利益率の上昇により、ROEは株主資本コストを上回った。2024年3月期は米国拠点の黒字転換と為替差益、2025年3月期は繰延税金資産の追加計上による法人税等調整額の減少が寄与した。一方で、為替換算影響により総資産が増加し総資産回転率が低下、また自己資本が増加し財務レバレッジが低下している。
- PBRは1倍割れが続いている。過去のROEが株主資本コスト未滿、当社グループの成長性に対する市場評価が不十分、当社グループの認知度の低さ、流通株式数や出来高の少なさから株価に適切な企業価値が反映されにくい等の要因があると分析している。
- ROEが株主資本コストを継続的に上回るには、利益率向上や効率性、財務構成について改善が必要な状況である。

取組み方針

成長戦略

- 新規事業における成長分野への経営資源投入
- 新たな海外事業展開
- 積極的な新規投資と研究開発投資を実施

収益性向上

- DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- 適正な売価転嫁、不採算事業領域・拠点の再構築

資本・財務戦略

- 安定的な配当及び連結配当性向30%を目標とした株主還元の遂行
- 営業CFおよび資産売却・資金調達を原資とし、投資・株主還元戦略的に配分

企業価値向上のインセンティブ

- 株式報酬制度の導入
- 従業員持株会の拡充

進捗状況①：成長戦略



■ 新たな海外事業展開

東南アジアにおいて汎用ホース事業を拡大

Tigerflex (Thailand) Co., Ltd.を2023年10月にタイで設立、2025年9月に竣工を迎え、2026年1月から工場稼働に向けて準備中である。
北米および日本において高いシェアを維持している汎用ホース事業の拡大を目指す。

タイ市場におけるブロー成型品のトップシェア拡大

2024年9月にタイのブロー金型メーカーである、T.A.G Molding Company Limitedを買収。
金型技術の獲得により、技術と品質で差別化を図り、ブロー成型品のタイ市場におけるトップシェアの地位をさらに拡大していく。

■ 積極的な新規投資と研究開発投資の実施

成長分野への経営資源投入

ロボットハンド柔軟指「ソフトラロボ」を展開。ワーク形状や重心等の制限を受けにくく、しっかりと把持が可能。
その他にも多くの取引先様とNDAを締結し、新規技術・製品の開発に注力している。

成長戦略を支える開発技術力の強化

2025年5月に開発研究所（神戸市）の隣地を取得。今後の成長戦略の根幹を支える開発技術力の強化に取り組む。

進捗状況②：収益性向上、資本・財務戦略、企業価値向上のインセンティブ



■ 不採算事業領域・拠点の再構築

Tigers Polymer (Malaysia) Sdn. Bhd.の清算

当社の連結子会社であるTigers Polymer (Malaysia) Sdn. Bhd.を解散及び清算することについて決議。

家電製品の小型化に伴う売上縮小が続くなか、当社グループ全体として事業の合理性及び経営効率を考慮し、解散及び清算を決定した。

（本件が連結業績に与える影響は軽微である）

■ 安定的な配当及び株主還元の遂行

安定的な配当を実施

株主還元の強化の観点で、2023年8月に配当方針を連結配当性向30％以上に見直し、2024年3月期・2025年3月期ともに配当性向31.0%の配当を実施。

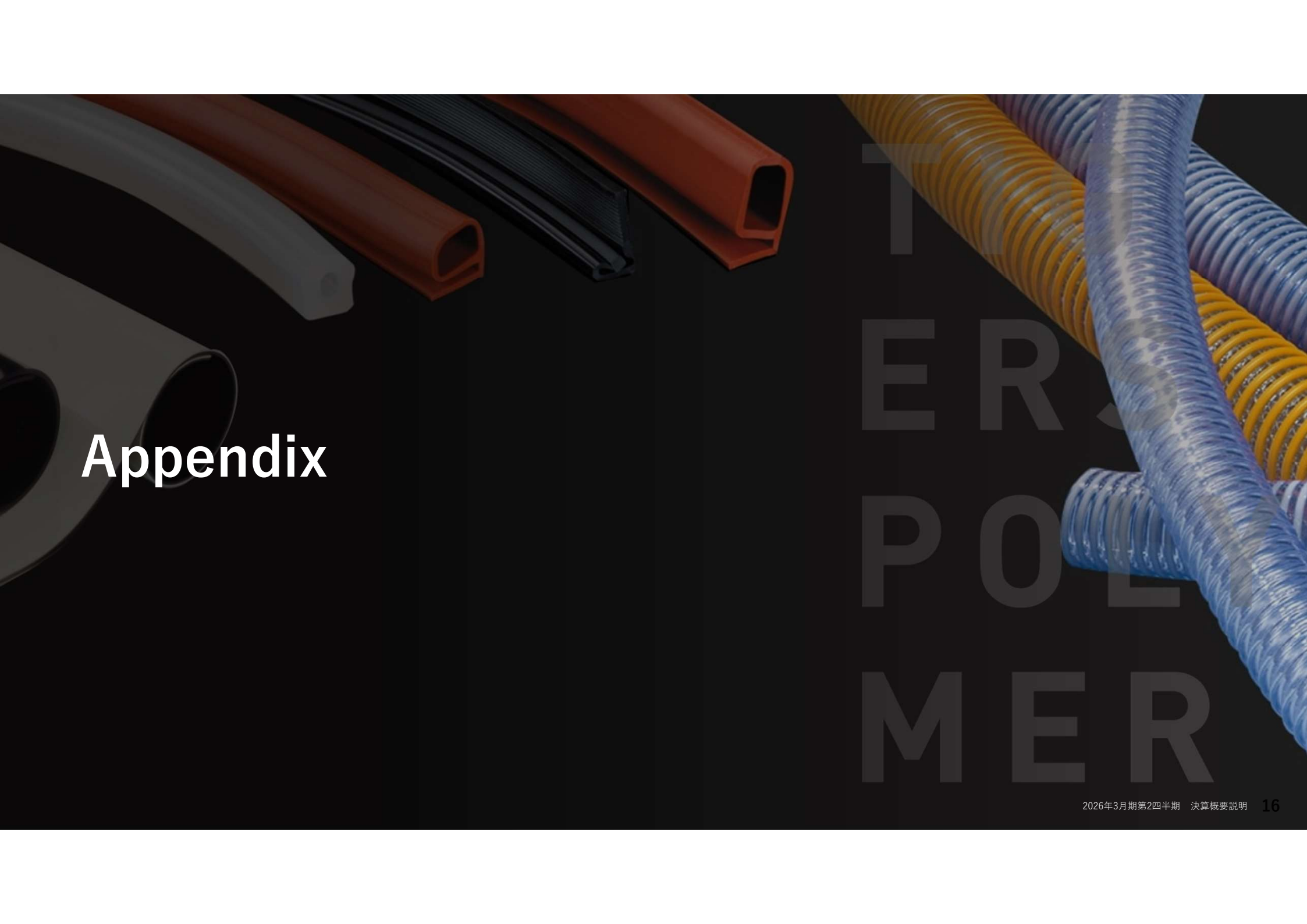
安定的な配当維持に加え、業績に応じた適正な利益還元を行う。

■ 企業価値向上のインセンティブ

株式報酬制度の導入、従業員持株会の拡充

2025年3月期に役員及び従業員向け株式報酬制度を導入、2026年4月より従業員持株会制度の改定を予定。

福利厚生の実施や、従業員一人ひとりが経営に参加している意識を高めることで、エンゲージメントの向上を目指す。



Appendix

TER
POL
MER

四半期業績推移

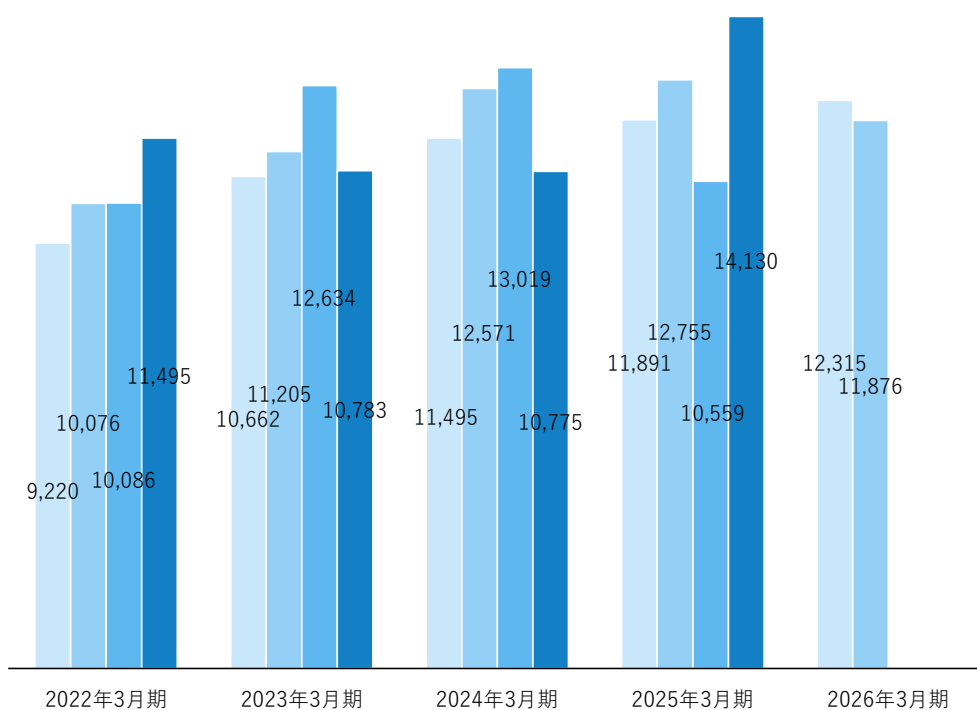


■ 2026年3月期の第2四半期は、売上高は為替換算の影響などにより前期比減少した。

営業利益は値上げ効果や人件費・諸経費の減少などにより前期比増加した。

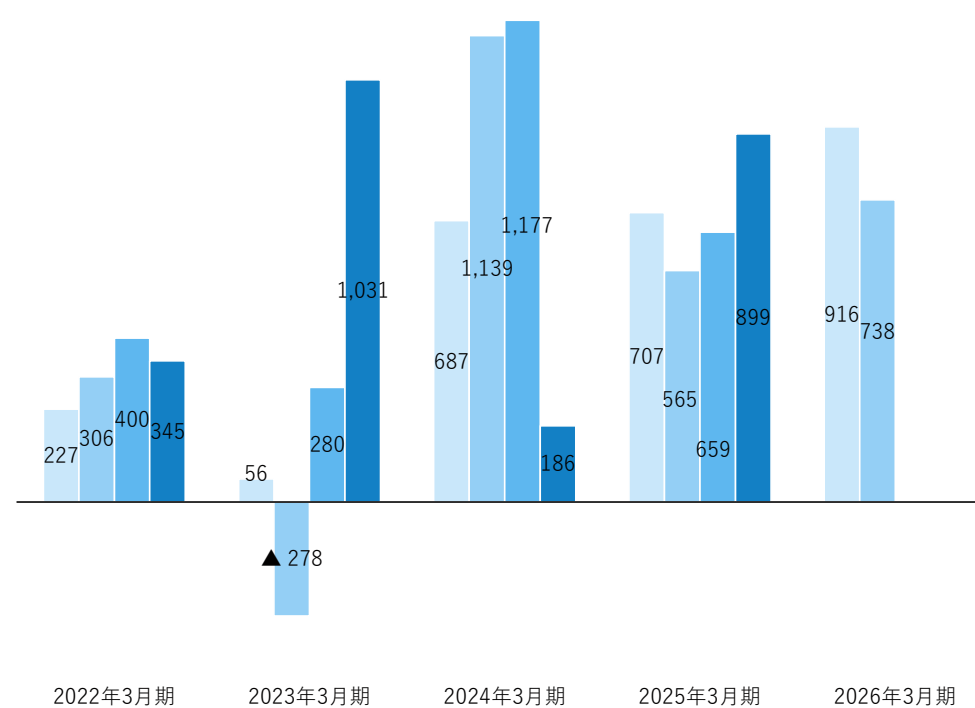
四半期売上高（百万円）

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期



四半期営業利益（百万円）

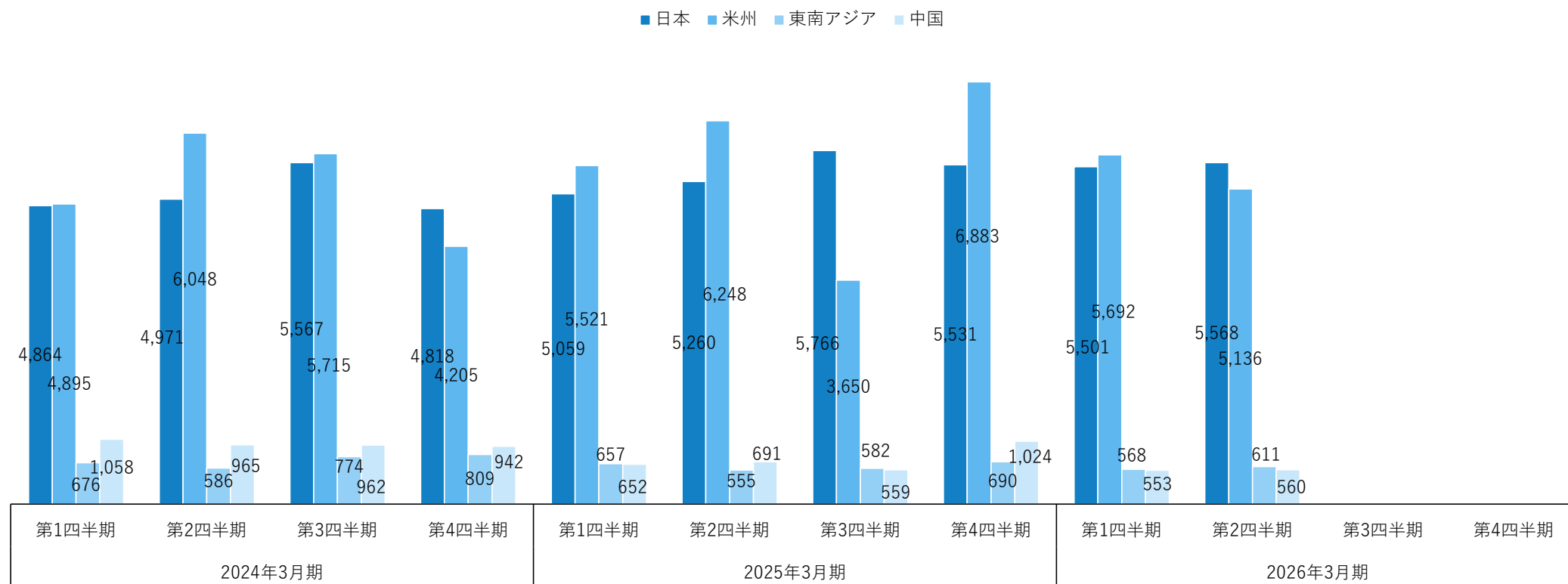
■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期



四半期地域別売上高推移

- 2026年3月期の第2四半期は、日本と東南アジアの売上高が前期比で増加したが、米州と中国の売上高は減少した。
米州は為替換算の影響による減少額が大きかった。

地域別売上高



本資料取り扱い上の注意点



本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります